



インスピレーションになろう



バリー・ラシン
2018-19年度国際ロータリー会長

No.19

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

例会記録 (2018. 11. 30 (金)) 通算3,193回

◆開会・点鐘

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

国際ロータリー第2680地区

ガバナー補佐 好崎泰州 様

随員 原田 悟 様



左：好崎泰州 様 右：原田 悟 様

◆歓迎歌 「松の緑」

◆プログラム予定

12月7日 (金)	12月14日 (金)	12月21日 (金)	12月28日 (金)
卓話 「これからの東播磨」 東播磨県民局長 四海 達也 氏	卓話「自己紹介」 サントリープロダクツ(株) 高畑 健一 会員	年次総会 次年度理事役員決定 年末コンサート 高砂ロータリー楽団	休 会 (定款第8条第1節(C)による)

◆米山功労者の方へ感謝状の贈呈

信原 智彦会員
西田 秀雄会員



信原智彦会員と坂井智代会長

◆出席報告

本日11月30日 会員数43名 出席者 19名 出席率 44.2%
前々回11月 9日 会員数43名 修正出席者38名 出席率 88.37%修正

◆MAKE-UP

中尾 良治会員 e-CLUB 11月28日(11月30日)
中野 哲郎会員 e-CLUB 11月25日(11月30日)
中野 哲郎会員 e-CLUB 11月15日(11月16日)
丸山 恵右会員 e-CLUB 11月27日(11月30日)
池本 和正会員 e-CLUB 11月14日(11月16日)
池本 和正会員 e-CLUB 11月14日(11月 9日)
滋野 敦士会員 e-CLUB 11月20日(11月30日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

ガバナー補佐 好崎泰州様……お世話になります。

坂井 智代会長……本日の好崎ガバナー補佐のご来訪ありがとうございます。

後藤 宗久幹事……好崎ガバナー補佐様、随員員の原田様。本日はようこそ。ガバナー補佐の卓話楽しみにしています。

籠谷 啓一会員……好崎ガバナー補佐様ようこそ高砂RCへ。

山名 克典会員……昨日の有志の会でワインをたくさんいただきました。

後藤 純次会員……誕生日のお祝いありがとうございました。

◆委員会報告



親睦・出席委員会 後藤純次 委員

◆幹事報告（3,193回）

〈国際ロータリー第2680地区より〉

◎地区大会参加の登録とお願いが届いております。

本年度は加古川で開催する事になり、「インスピレーションあふれる大会」にすべく、準備を進めております。日時は2019年3月22日～24日です。皆様のご来場をお待ちしております。

詳細は追って案内状を配布しますが、回覧にて確認をお願い致します。



後藤宗久 幹事

◎2017-18年度5月に開催されました「2018 JAPAN RYLA 報告書」が完成致しました。回覧で確認をお願い致します。

◎2018年12月のロータリーレートは1ドル=112円と本部より連絡がありました。

〈例会変更のお知らせ〉

◎姫路RC

12月4日（火） → 忘年家族例会に変更

1月1日（火） → 休会

〈その他〉

◎公益財団法人兵庫子ども家庭福祉財団 片岡理事長より、「平成30年度サマープログラム募金」協力のお礼が届いております。回覧にて確認をお願いします。

◎2018年11月18日に一の池公園で行われました「ラトローブ・デイ、国際交流バーベキュー大会」で「エンド・ポリオ募金」を募りました。メンバーは、高砂青松RCの皆様と高砂RCからは坂井会長、守光ポリオプラス委員、私の3名です。募金は¥20,291-集まりましたので高砂青松RCと折半してロータリー財団に振り込みます。

◆会長の時間

「国際交流協会でのポリオ撲滅募金活動」

11月18日（日）に高砂市市ノ池公園において「ポリオ撲滅募金活動」を高砂青松クラブとの合同で実施させていただきました。これは、今年度RIや地区ガバナーの重点項目であるロータリーデー開催の一環として、「周辺クラブとの合同で拡大開催し、より地域社会との連携を深める」という目的で今年度新たに企画したものです。当クラブからは、坂井、後藤幹事と守光会員の3人が参加しました。そこでの気づきがいくつかありましたので報告します。



坂井智代 会長

今回の募金活動は、高砂市国際交流協会が毎年開催している国際交流バーベキュー会のイベント内での活動となり市内在住の外国人の方から多くの募金をいただきましたが、以前9月に加古川市のイベント内で実施した募金活動のときとは随分と様子が違っていました。9月の時には、人々がブース前を通り過ぎて行ってしまうため子供達に声掛けをすることで自分にも学びがあったこととお話しましたが、今回のように外国人の方が対象となると、会場の雰囲気も募金に対する意識も全く違っていました。色々な国籍の方が集まっておられる場所では、人々が物怖じせずに（加古川では人々がブース前を避けて通る雰囲気でしたが）自然に寄ってきてくださいます。それはとてもうれしいのですが、逆に色々質問をされてこちらがタジタジになりました。例によって私が調子よく「ポリオを世界に残したらまた増えてくるので根絶しましょう！」というようにザックリとした説明をしていましたら、募金者から「ポリオは感染症なのですか？」「そんなに感染力は強いのですか？」「どうやって感染するのですか？」などと結構な突っ込みが入り、また「ユニセフや他の団体も同じような活動をしていると思うのですが、どう協力しているのですか？」などと鋭い質問をされてすごく焦りました。皆様に納得してもらえるお答えができたのか自信はありません。在留外国人の方は、色んなことにアンテナを張り一生懸命に考えて生活をされていますので、その姿勢に学ぶことができました。一方で、いま国会では安倍政権が国内の人手不足対策として外国人労働者の受け入れ拡大を来年（2019年）4月から実施させるために入国管理法改正案を提出していますが、外国人には多様な文化や価値観がありますので問題は山積だろうと感じました。

もう一つの気づきが、高砂市国際交流協会の様子です。今更かもしれませんが、高砂市内には多くの在留外国人の方がいることを知り、バーベキュー会で飲食を共にすることにより、色々な国の方の風習を間近に見ることができました。そして、外国人の方と高砂市民とがうまく共生できるようにと橋渡しの働きをしてくださっているボランティアの方が多くいることも知りました。今回のイベントには、市長・市議員・国会議員・県議会議員など政治家の方も熱心に参加されていましたし、故片岡正会員のご子息夫妻も熱心にお手伝いの活動をされていました。

今回の募金活動は、高砂青松ロータリークラブ様が以前から後援をされていた国際交流イベントにお招きいただき、そこでの募金活動の実現となったのですが、本当に素晴らしいイベントでしたので、当クラブとしましても今後も引き続きの協力できれば素晴らしいことだと思いました。





(高砂市国際交流協会FB写真より)

◆本日のプログラム

卓話「女性天皇について」

国際ロータリー第2680地区 ガバナー補佐 好崎 泰州 様

「女性天皇」についてです。今上陛下の御退位発言より色々と皇室問題で出ては消える話題ですが、過去の女性天皇はどうだったのかを見ていきたいと思います。

「女性天皇」は10代8名の方がおられました。「33代推古天皇」「35代皇極天皇」「37代齐明天皇」「41代持統天皇」「43代元明天皇」「44代元正天皇」「46代孝謙天皇」「48代称徳天皇」「109代明正天皇」「117代後桜町天皇」の10代で、「35代皇極天皇」「37代齐明天皇」・「46代孝謙天皇」「48代称徳天皇」は重祚されております。

「女性天皇」には色々とその当時の思惑やエピソードが有りますが、結論的には、ピンチヒッターとして女性天皇は存在しますが、女系天皇は存在していません。

特に、50代ごろまでは朝廷に力が有ったし、そこに有力豪族のドロドロとした力関係も垣間見える歴史が描かれております。



また、50代以降は皇后の参政権が制限され、女性天皇が出なかったことを物語っておりますし、そのころから武士の台頭が見られ朝廷が弱体化しているのも事実です。

女性天皇はしかもすべて男系の相続で、寡婦か未婚で、在位中は結婚もせず、子供も残していません。萬世一系の天皇家のしきたりですね。

男系天皇が連綿と続いていたのは、染色体のY系が途切れていないことです。

天皇后継問題ですが、明治天皇までは側室が存在していましたが、大正天皇以降には側室は置かれておりません。(一時「小泉政権」下において女性宮家の議論はされましたが、そのままで今日までに至っております。)

これは、欧州の王家がキリスト教のため側室制度を否定し、一夫一婦制度しか認めておられないためだとも言われております。また、ヨーロッパでは王族同士の結婚が盛んで、男系継承は、昔はサリカ法典の影響で男子のみに継承権を与えていたが、「男女同権」の考え方の影響で女系国王が生まれて、新たな王朝を開かれていった。

そのため約800年にわたってフランスを統治し、現在もスペインを統治しているカペー朝の男系一族を例外として存在しない

なお、現存する王室は、天皇家が最古・最長と言われております。

最後に、アメリカでは大統領が空港にてゲストを迎える際の最高の礼遇は、空港においてホワイトネクタイで出迎えることである。この礼遇が適応されるのは、ローマ法王・イギリスの女王・天皇陛下の3名しかいない。

そしてエリザベス女王が陛下と同席される時は、上座を陛下に譲る。

ローマ法王が外国を訪問したときは、その国の元首が法王の元を訪問されるが、天皇陛下は唯一の例外で、ヨハネ・パウロ二世の日本訪問の時は、教皇から皇居に出向き昭和天皇を訪問している。

よって、国際儀礼上は日本の天皇陛下が最上位とみなされている。

会長 坂井 智代 幹事 後藤 宗久
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 豊田 克義
例会場 高砂商工会議所2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/